

〔国際会議発表〕

| | | |
|-------|--|---------|
| 発表研究者 | 神奈川大学 博士後期課程 津田 喬史 | 2172108 |
| 参加会議 | 232nd ECS Meeting (アメリカ電気化学会 講演大会) | |
| 出張期間 | 2017年10月2日～10月6日 | |
| 開催場所 | ワシントン D.C.・USA | |
| 発表論文 | Improvement of Rate Performance of LiFePO ₄ Cathode with Porous LiFePO ₄ /Activated Carbon Hybrid Electrode Structure 穴あき LiFePO ₄ /活性炭ハイブリッド電極構造による LiFePO ₄ 正極の高出力化 | |

概 要：

【参加目的】

申請者が行った研究は、これまでにないアイデアを提案し、従来に無い結果を明らかにしているため、この結果を世界的な学会で発表するときによって、申請者のアイデアが世界にどれだけ受け入れられかどうかなどを確かめるために発表を行う。リチウムイオン二次電池・燃料電池分野の研究者との交流を通して、この分野の研究の動向を学び、新たな共同研究先、卒業後の博士研究員先を開拓することに非常に有効である。特に欧米での蓄電池は各国の産業の振興に伴って、拡大していく分野であるため、新たなビジネスチャンスを的確に取られる良いチャンスである。

【得られた成果】

今回の国際学会において、自分はリチウムイオン二次電池のオリビン酸鉄リチウムと呼ばれる正極材料に関する研究について発表を行った。現在リチウムイオン二次電池に用いられているオリビン酸鉄リチウムへの放電反応速度をより高速化するためにはどうすればいいのかといった内容であったが、大学に所属している研究者のみならず、メーカーに勤務している研究者からの質問もあったことから、自らの研究に対して幅広いニーズというものを感じ取ることができた。また、質問の内容として、電池材料の一部に穴あき加工した場合高速放電反応速度に大きな変化があったことに対してなぜなのかといった質問があり、今後は放電反応速度を高速化するにはどうするかといった内容だけでなく、なぜ高速化できるのかといった考察について、これまで以上に研究する必要性があることを感じた。